

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	ふたみシーサイド公園管理運営事業			
予算科目	7 款 1 項 5 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 観光の振興			
所管課情報	担当課: 商工観光課		電話番号(内線): 986-1232(152)	
記入者情報	所属長: 米湊 誠二		担当責任者: 宮田 哲二	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市民等			
根拠法令等	伊予市ふたみシーサイド公園条例			
事業の目的	伊予市内の観光振興の最重要拠点として、夕日に関する情報提供や特産品等の展示販売を行いながら、市民等の交流及びふれあいの場を提供するため、年間通じてイベントの開催や情報発信を行う。			
事業の内容	指定管理者制度に基づき、管理委託及び施設の整備を図る。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	ハード面においては、公園内上水・排水用の給水ユニット取替工事等の緊急を要する整備を行う。ソフト面においては、各テナントと協調して、年間を通じてイベントを開催することにより、話題性をつくり集客向上につなげる。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	12,768	14,336	2,559	13,540
	人件費	4,399	813	406	813
	合計	0	15,149	2,965	14,353
人件費 内訳	人工数	0.55	0.10	0.05	0.10
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	4,399	813	406	813
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	17,167	15,149	2,965	14,353

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
観光入り込み客数	千人	501	550	311	501

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
		15,000	315,000	15,000	15,000	15,000

成果指標				
成果指標	観光入り込み客数			
指標設定の考え方	施設の管理及び整備により施設利用者の増減が考えられる。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標27年度
目標	550000	550000	550000	0
実績	501000	501000	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	施設の老朽化が著しく改修等にかかる費用が増大しているため、指定管理者と協議をしながら、改修計画について検討していく必要がある。近年、県内各地に話題性を有した観光施設が増加し、観光客離れも生じているため、これまで以上に特色あるイベントの開催など観光客誘致に努めていかなければならない。また、次年度には、JRによる観光列車「愛ある伊予灘線」の運行が計画されており、より一層の情報発信を行う必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	オープン以来19年が経過、施設の老朽化や塩害等の影響も著しく、市及び指定管理者において毎年、修繕費を投入して施設管理を行っている。今後は新市建設計画に基づいて遅れている大規模改修計画を進めていく必要がある。施設の整備には時間を要するために、指定管理者とテナント等が連携し、他の施設にない話題性豊かなイベント等の活動展開や継続が必要である。ハード面には巨額な経費をかけず最小限の経費で最大の機能を発揮される施設づくりが望まれる。また、バイクブームにより国道378号を利用するサイクリストや、平成26年7月から運行される観光列車の観光客等をいかにふたみシーサイド公園への導線を作るか重要である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	下記の点を見直しの上、継続する。
意見、課題	閉まっているレストランについて早急に検討すること。